

GUNMA

# その他の土木遺産



# AREA A



## 赤城山の火口湖に浮かぶ朱塗りの橋

### 啄木鳥橋 きつつきばし



#### 概要

- 所在地 勢多郡富士見村赤城山
- 路線名 赤城神社の参道橋
- 年代 昭和45年(1970)
- 構造形式 木橋
- 主要諸元 橋長72.2m 幅員2.0m
- 管理者 赤城神社

赤城山観光の中心地大沼は、カルデラ湖という地理学的特徴と共に小鳥ヶ島に赤城神社が鎮座する景勝の地でもあります。社殿近くには志賀直哉の文学碑や県指定重要文化財の多宝塔があります。参道となる啄木鳥橋は大沼の水面の藍、駒ヶ岳などの緑が映える鮮やかな朱塗りの橋で、周囲には毎年願掛けの神事で奉納された緋鯉が群れをなして泳いでいます。

## 自然のなかで社会復帰を目指す公園

### 寺沢川リハビリパーク てらさわがわりはびりぱーく



#### 概要

- 所在地 前橋市亀泉町
- 河川名 寺沢川
- 年代 平成13年(2002)
- 主要諸元 護岸、遊歩道、木橋、休憩施設
- 管理者 群馬県

日本一の県立病院づくりを目指す群馬県では様々な取り組みが行われています。寺沢川リハビリパークは、群馬県立心臓血管センターに入院している患者さんたちのリハビリを目的として整備された公園です。公園内を流れる寺沢川の流れや兩岸の緩やかな傾斜面を巧みに利用して、心臓リハビリ歩行コースや休憩所などが設置されています。このような環境での屋外運動療法の成果が専門家の熱い注目を集めています。

## 徳富蘆花「不如帰」の舞台、伊香保温泉

### 伊香保温泉の石段 いかほおんせんのいしだん



#### 概要

- 所在地 北群馬郡伊香保町
- 路線名 町道 香湯神社線
- 年代 天正4年(1576)
- 主要諸元 石段街
- 管理者 伊香保町

伊香保温泉は、今から約1900年前に発見されたと言われる歴史ある温泉です。温泉街のシンボルでもある石段街は、天正4年(1576)に造られた歴史的な遺産です。石段の両側に家並みを配し、高台にある源泉から湧き出る温泉を石段の横から流したのが石段の始まりと言われています。石段はその数360段で、一番下の伊香保関所跡までの高低差は約80mあります。

# AREA B



## 度重なる流失、地元の熱意が実現させた永久橋

### 岩倉橋 いわくらばし

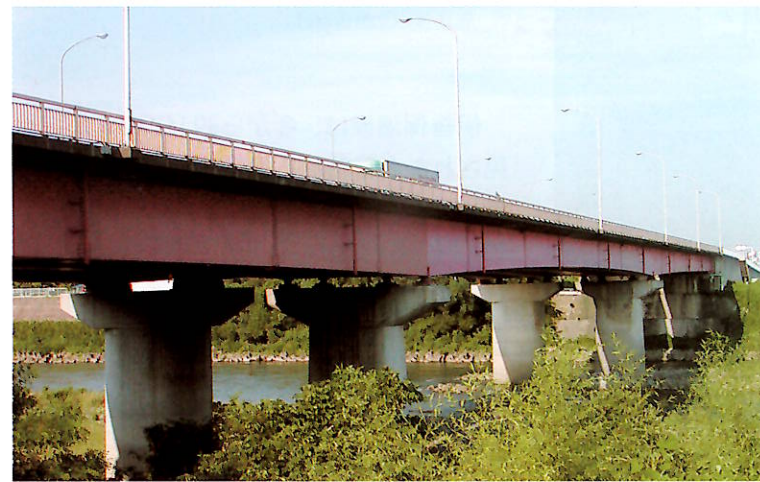


#### 概要

- 所在地 多野郡新町～佐波郡玉村町
- 路線名 県道 藤岡・大胡線
- 年代 平成5年3月(1993)
- 構造形式 3径間連続鋼箱桁橋×2連
- 主要諸元 橋長454.2m 幅員6.5+3.5m
- 管理者 群馬県

岩倉橋は明治9年(1876)に前橋市街地と首都圏とを連絡する道路橋として架橋されたのが最初で、それまでの渡し舟を廃止して初めて橋が架けられました。橋名の「岩倉」は、明治11年(1878)、岩倉具視一行が明治天皇の名代として、この橋を渡り前橋に向かったことから「岩倉橋」と呼ばれるようになりました。その後、流失と架替を繰り返して、現在の橋は平成5年(1993)に架替られました。

## 昭和大橋 しょうわおおはし



**概要**

- 所在地 高崎市萩原町～前橋市公田町
- 路線名 県道 高崎駒形線
- 年代 昭和47年(1972)
- 構造形式 3径間連続鋼箱桁橋
- 主要諸元 橋長205.0m 幅員19.0m
- 管理者 群馬県

昭和大橋は利根川を横架し、高崎市と前橋市を繋ぐ橋です。この橋が架橋されるまでは、「公田の渡し」が利根川を渡河する人々の交通手段でありました。昭和47年(1972)に暫定2車線で開通しましたが、その後、交通量が飛躍的に増大し昭和61年(1986)に4車線化されました。県道高崎駒形線は、前橋南部地域や東毛地域と高崎・信越方面とを連絡することから県道No.1の交通量があります。

## 4堰に正確に分水する円筒分水堰

## 長野堰 (円筒分水) ながのせき(えんとうぶんすい)



**概要**

- 所在地 高崎市岩押町
- 取水河川 烏川
- 年代 昭和37年(1962年)
- 構造形式 円筒分水堰
- 管理者 長野堰土地改良区

榛名町本郷の烏川左岸から取水し、烏川と井野川に挟まれた約1,800haの田畑を潤す灌漑用水が長野堰用水です。水路の開削は戦国時代の武将・長野氏が浜川館に居住した16世紀初期と思われます。市内にある円筒分水堰は、昭和37年(1962)に建設されたもので、自然落差により地獄堰、上中居堰、谷中堰、倉賀野堰に正確に用水を分水する国内でも珍しい施設です。平成14年(2002)高崎市が誇る近代遺産として、たかさき都市景観賞に選ばれました。



## 万座川石張流路工 まんざがわいしばりりゅうろうこう



**概要**

- 所在地 吾妻郡嬭恋村奥万座
- 河川名 万座川
- 年代 昭和61年(1986)
- 構造形式 石張流路工
- 管理者 群馬県

万座川上流は川の流れが速く、万座温泉の源泉に近いことから地表の至る処から硫黄が噴出し、空気中にも亜硫酸ガスが充満しています。このため河川は強酸性で鉄やコンクリートなどは短期間で腐食してしまいます。このため流路工には小野上村から切り出した石材が使われています。石材と石材の間の目地には樹脂モルタルを使用するなど通常の河川とは違う工法が採用されています。

## 土石流から人々の命と財産を守る堰堤

## 万座川堰堤 まんざがわえんてい



**概要**

- 所在地 吾妻郡嬭恋村門貝
- 河川名 万座川
- 年代 昭和25年(1950)
- 構造形式 石積堰堤工
- 主要諸元 堤長50.0m 堤高8.0m
- 管理者 群馬県

昭和24年(1949)8月、駿河湾から静岡県に上陸したキティー台風は、群馬県の山間部にも300mm/日の降雨をもたらしました。このため県内各地で土石流が発生し、甚大な被害を受けました。戦後の荒廃期の中で遅れていた砂防施設の整備が急務となり、県内各地で砂防堰堤や流路工が整備されました。万座川堰堤もその一つで、万座川上流域の土砂を堆積し、下流域を守る施設です。

## 二度と同じ悲劇を繰り返さないために

## 笹平(万座鹿沢口)急傾斜 ささひら(まんざがざわくち)きゅうけいしゃ



**概要**

- 所在地 吾妻郡嬭恋村鎌原
- 地区名 笹平地区
- 年代 昭和47年(1972)～平成17年(2005)
- 構造形式 法面切土整形、法枠工
- 管理者 群馬県

昭和41年(1966)7月30日未明、嬭恋村芦生田の笹平地区では約8,000m<sup>3</sup>もの土砂が斜面より突如崩落し、一瞬にして3戸16名の尊い人命が犠牲となる大惨事が発生しました。このため昭和46年(1971)に急傾斜崩壊危険区域に指定され、翌年より対策工事が実施され、現在までに土砂の排土やコンクリート法枠工による法面の補強工事が実施されています。

## 四万川ダム (奥四万湖) しまがわだむ(おくしまこ)

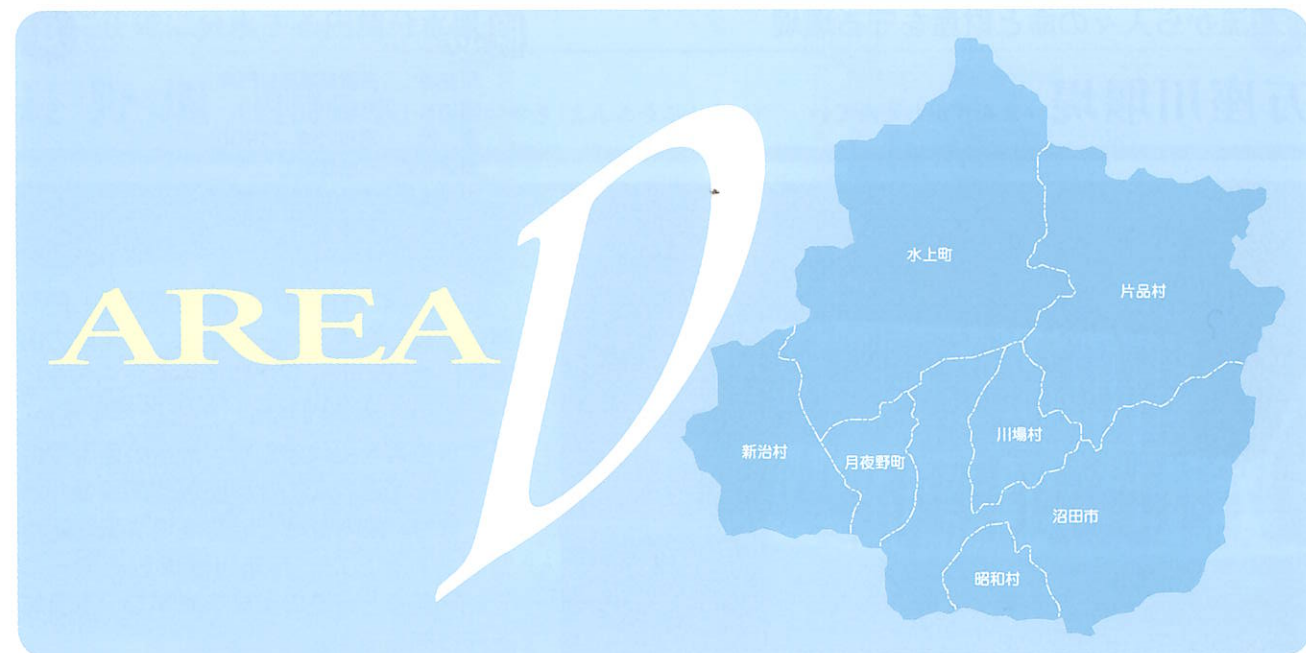


### 概要

10

- 所在地 吾妻郡中之条町四万
- 河川名 利根川水系四万川
- 年代 平成11年(1999)
- 構造形式 重力式コンクリートダム
- 主要諸元 堤長330.0m 堤高89.5m 総貯水容量9,200千m<sup>3</sup>
- 管理者 群馬県

上信越高原国立公園内に位置し、四万温泉郷の直上流の四万川に建設された四万川ダムは、洪水調節、水道用水の開発などを目的とする多目的ダムです。また、このダムでは維持放流水を利用して群馬県企業局により発電(日向見発電所)も行われています。四万川ダムは「地域に開かれたダム」としても有名で、温泉街からダム堤体内のエレベータを通じてダムの頂上にも上がることができます。



### 水上駅と温泉郷を結ぶ橋

## 谷川橋 たにがわばし



### 概要

11

- 所在地 利根郡水上町鹿野沢～水上町湯原
- 路線名 県道 沼田水上線
- 年代 平成14年(2002)
- 構造形式 波形鋼板ウェブ単純PC箱桁橋
- 主要諸元 橋長51.0m 幅員10.5m
- 管理者 群馬県

谷川橋はPC箱桁橋の腹材(Web)に波形鋼材を使用した県内最初の複合橋梁です。JR水上駅と利根川右岸を走る国道291号を連絡する谷川橋は、駅に降り立った観光客を水上温泉街や湯桧曾温泉、谷川温泉などの温泉郷や天神平スキー場などのスキー場等へ誘う橋梁です。また、谷川橋は駅前に広がる商店街と地域の人々を結ぶ生活道路橋としても重要な役割を担っています。

## 南郷堰堤 なんごうえんてい

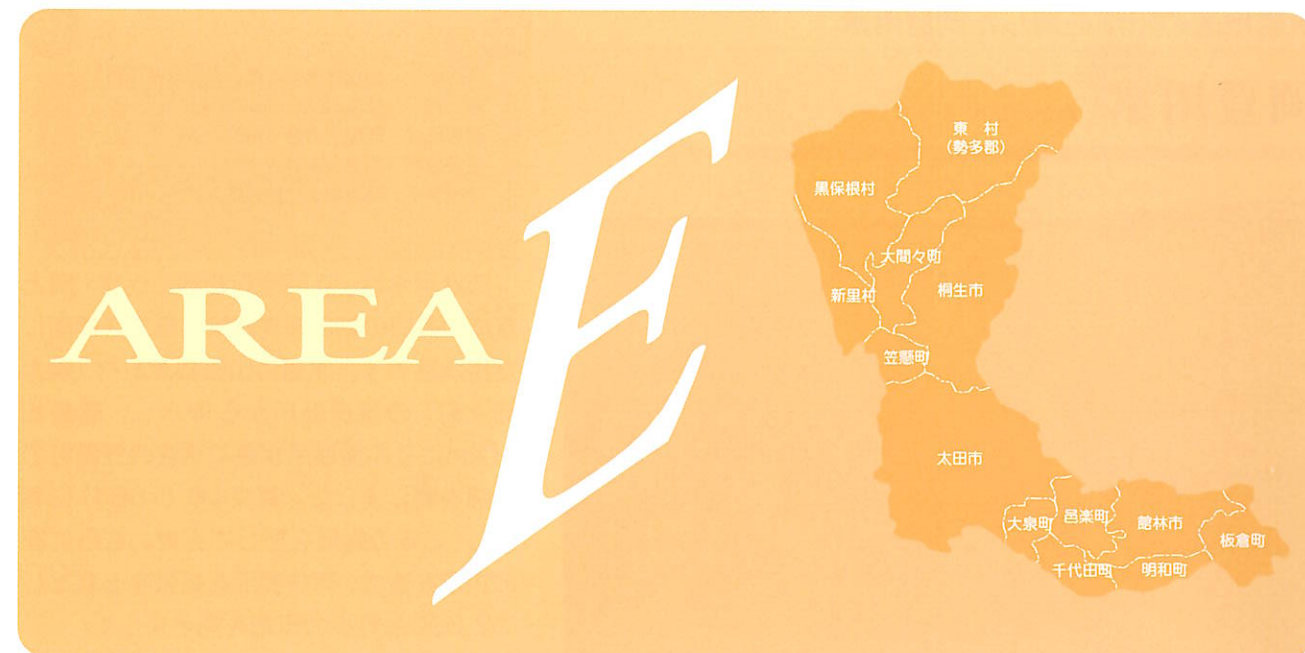


### 概要

12

- 所在地 利根郡利根村南郷
- 河川名 根利川
- 年代 昭和27年(1952)
- 構造形式 石積堰堤
- 主要諸元 堰長64m 堰高20.5m
- 管理者 国土交通省

河川の治水対策は、人々の生命を守り、暮らしと産業・経済基盤の礎となる重要な事業です。しかし、戦前、戦中は軍事優先であったため、県内の砂防事業は遅れていました。このため戦後、カスリン(1947)、アイオン(1948)、キティ(1949)などの巨大な台風により大きな被害を受けることとなりました。南郷堰堤はそんな時代の要請に基づき片品川支川・根利川に整備された砂防堰堤です。



### 市民に愛される豊かな自然の宝庫

## 桐生川ダム (梅田湖) きりゅうがわだむ(うめだこ)



### 概要

13

- 所在地 桐生市梅田町
- 河川名 利根川水系桐生川
- 年代 昭和58年(1983)
- 構造形式 重力式コンクリートダム
- 主要諸元 堤長264.0m 堤高60.5m 総貯水容量12,200千m<sup>3</sup>
- 管理者 群馬県

桐生川流域の桐生市は、昭和22年(1947)のカスリン台風などにより連続して甚大な被害に見舞われました。桐生川ダムは、台風などによる水害を防止するとともに、急増する水需要に対処するために群馬県により建設された多目的ダムです。梅田湖周辺は「水源の森百選」や「森林浴の森百選」に選ばれた美しい山々と清流のスポットです。市民が豊かな自然とふれあえる憩いの場として愛されています。

## 館林つつじが岡公園 たてばやしつつじがおかこうえん



### 概要

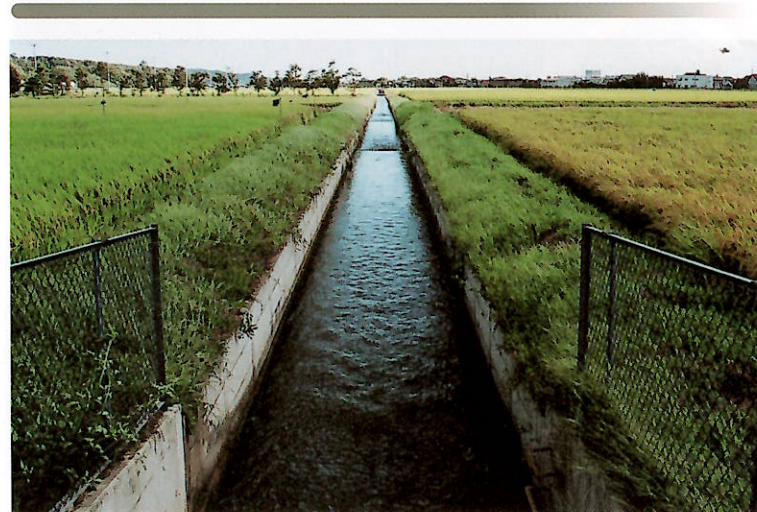
14

- 所在地 館林市花山町
- 年代 江戸時代
- 構造形式 公園 (10,000株のツツジ)
- 管理者 群馬県

毎年4月中旬から5月の連休かけて鮮やかに咲き乱れる約一万株のツツジは、江戸時代の館林城主・榊原康政が城沼南岸にツツジを植えたことに始まると言われています。以後、歴代城主などにより大切に育てられたことが今日の隆盛につながっています。園内には樹高5m、樹齢800年の古木を始め、各種のツツジが美しさを競いあっています。昭和9年(1934)国の「名勝」に指定。

## 東毛地区の田畑を潤した岡登用水

### 岡登用水 おかのぼりようすい



### 概要

15

- 所在地 山田郡大間々町～太田市新田町
- 年代 寛文12年(1672)
- 構造形式 素堀用水路(当時)
- 主要諸元 延長10km
- 管理者 岡登堰土地改良区

岡登用水は、江戸時代初期に代官・岡上景能が幕府の新田開発政策に基づき開削した用水路です。水路は山田郡蕪町村(現大間々町)の渡良瀬川から取水し、延長約10kmに及ぶ素堀用水路で現在の笠懸町の田畑を潤しました。寛文4年(1664)に着工し、8年の歳月を要して完成。さらに鹿の川沼を造成、阿佐美沼を拡張するなどして2,300余町歩の田畑を開きました。